

「事業の内容」の設備記入例

様式第 2 号（第 7 関係）

事業計画書

「既存設備」が同じものでも、「導入予定設備」が違えば設備を分けて記入する
※逆の場合も同じ

事業の内容	設備導入所在地		茨木市駅前三丁目 8 番 13 号		
	既存設備	設備の名称	設備 1 FA21958WH	設備 2 FA21958WH	設備 3 FA1197NA
		性能等	27W	27W	15W
		数量	5	8	3
	導入予定設備	設備の名称	設備 1 NO427BS (1 本灯)	設備 2 AF10312CR	設備 3 AF10312CR
		性能等	6.8W	1.1W	1.1W
		数量	5	8	3
	事業効果	二酸化炭素削減量 (年間見込み)	省エネルギー設備改修	[2 . 4 9 3] t-CO ₂ 補助対象経費 100 万円当たり [[2 . 2 2] t-CO ₂]	
			新エネルギー設備設置	[] t-CO ₂ 補助対象経費 100 万円当たり [[] t-CO ₂]	
			(算出根拠)	別紙参照	
工事期間		工事着工予定日	2026年 12月 1 日		
		工事完了予定日	2026年 12月 20 日		
工事予定業者		株式会社●●工務店			

「既存設備」と「導入予定設備」の数量は同じ数になる

添付書類

- (1) 改修予定箇所の現況図及びカラー写真
- (2) 既存設備のカタログ又はその内容が分かる書類
- (3) 導入予定設備のカタログ又はその内容が分かる書類

提出書類のよくある不備と注意点（LED 照明）

○写真に写っていない設備がある、写っていても消灯していて位置が分かりにくい

入れ替える全ての設備について点灯した状態で写真を撮影してください。写真だけでは入替設備の位置の特定が難しい場合は、写真と配置図それぞれに番号をふり、配置図上で設備の位置がわかるようにしてください。また、配置図上には設備の位置だけでなく、設備の型番等が分かるようにご記入ください。

○入替前の配置図が、現況写真の位置と異なっている

以前に実施された改修等のため、設計時の配置図と現況が異なる場合、現況に合わせて配置図を作成してください。

○パンフレット・仕様書に消費電力が記載されていない

○既存設備が古くパンフレット等がない

パンフレット等に記載されている消費電力を元に、二酸化炭素削減量の計算を行いますので、必ず消費電力が分かるパンフレット等をご準備ください。既存設備でパンフレット等がない場合は、蛍光灯に印字されている消費電力を確認して計算してください（また、印字部分を撮影し、パンフレット等の代わりとしてカラー印刷したものを提出してください）。

○書類間で設備の型番や消費電力、設置台数が異なる

全ての書類において設備の型番、消費電力、設置台数の整合性を再度確認してください。

○消費電力の計算で、実態に基づいていない使用時間で計算を行っている

例えば、使用していないときは消灯しているトイレ照明の場合、使用時間は1日あたり数時間程度と考えられます。常時点灯している場合を除き、使用実態に合わせて計算してください。

○法人の登記事項証明書ではなく土地の登記事項証明書が添付されている

設備改修場所の土地の登記事項証明書は必要ありません。法人の登記事項証明書を取得してください（申請日前3か月以内のもの）。